

開国・変わった世の中

1. 単元名 「開国で世界とつながった横浜」

2. 単元目標

ペリーが黒船で来航し、幕府との交渉の末、開国へ至る様子や、開国による我が国の社会・政治などの変化、文明開化などについて調べ、新政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めていったことを理解できるようにする。

3. 評価規準

- ・開国をきっかけとして、日本が近代化していく様子に関心をもち、意欲的に調べている。
- ・井伊直弼や坂本竜馬などの業績に関心をもち、意欲的に調べている。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ・開国したという事実を様々な見方から考え、表現している。
- ・近代国家としての仕組みを整えていく様子を、前の時代とかかわらせながら考え、表現している。

【社会的な思考・判断・表現】

- ・絵図や年表、地図から変化や人物の考えをとらえ、自分の意見に生かしている。
- ・調べたことや提示された資料から必要なことを選び、まとめている。

【観察・資料活用の技能】

- ・開国をするに至った過程や開国後の暮らしの変化を理解している。
- ・明治政府が進めた諸改革の内容とそのねらい、国民に与えた影響について理解している。

【社会的事象についての知識・理解】

4. 単元について

本単元で中心となる土地は横浜である。各学校で開港記念式が行われることもあり、「開国」という歴史的事象に対する知識をもっている子どもは多い。このように、子どもたちにとって身近な事象となり得る題材ではあるが、実際に開港した場所を訪れるというような体験は難しい。そこで、横浜開港資料館に残された様々な資料を用いることにより、開国を子どもたちが身近な出来事として具体的に捉え、意欲をもって学ぶことができるようにしたい。

横浜開港資料館には、横浜港の開港についての資料が多数残されている。また中庭には、ペリーが上陸した当時から現代まで残されている玉楠の木がある。さらに、開港により新聞やアイスクリームなど、子どもたちの生活と密接に関係している「もの」が日本にもたらされたことを記念した史跡が、横浜開港資料館の周辺に多数残されている。校外学習などの機会と合わせて見学することができれば、歴史を身近に感じることができると思われる。

ペリーは、1853（嘉永6）年7月に4隻の船を率いて浦賀に来航し、当時鎖国をしていた江戸幕府に開国を求めた。ペリーの要求に対し幕府は、すぐに結論を出すことが難しかった。そのため、7ヶ月後の1854（安政元）年2月に、7隻の船〔後に9隻になった〕を率いて再び来航した。2度目の来航で、幕府がペリーの要求聞き入れ、ペリーら約500名のアメリカ陸戦隊が横浜村へ上陸した。開港した日本は、貿易により外国の文化を取り入れながら近代化を進めていった。開国で賑わう横浜の様子などの資料を併せて活用することで、人々の生活の変化を現代の自分たちの生活とかかわらせながら考え、開港をした日本について関心を高めることができる。

ハイネの原画による石版「横浜上陸」 横浜開港資料館蔵

1853〔嘉永6〕年7月、浦賀沖に4せきの船とともにペリーがやってきた。その7ヶ月後、1854〔安政元〕年2月、再び7せきの船でやってきて、〔最終的には9せき〕金沢小柴沖に10日停泊し、その後、ここ横浜に上陸した。

ポーハタン号上後甲板での
宴会の様子



現在の玉楠の木



玉楠の木

黒船来航当時から現在まで
残る玉楠の木
現在は、横浜開港資料館の
中庭にある

黒船

ペリーが乗ってきた黒船と幕府の船との大きさを比べると・・・

上陸した場所はどこかな。横浜村の浜を選んだのは、なぜかな・・・



横浜応接所

来航したペリーらのために幕府が用意した応接所
日米和親条約についての会談を行った

横浜応接所見取図



上陸を見た人々
実際に黒船や陸戦隊を見た人々は、どう感じたのだろう。

ペリーの顔



アメリカの陸戦隊

約500名の陸戦隊が
整然と並んでいる

<横浜開港資料館所蔵>

5. 指導計画（全7時間）

主な学習活動と内容	主な資料（●）と教師の支援（◇）等
<p>1. 横浜から世界に国を開く（3時間）</p> <p>○ペリー上陸絵図をみたり、大統領の国書を読んだりして、黒船来航をめぐる人々の反応や行動について調べ、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペリーは、幕府に開国するよう迫ってきた。 ・当時の日本は、鎖国をしていたんだよね。 ・黒船はすごく大きいけど、どれくらいかな。日本の船と比べてみたい。 ・たくさんアメリカ兵がきちんと並んでいる。 ・当時の人々は黒船を見て、どのように感じたのだろうか。 ・どうして横浜村を開港場としたんだろう。 ・開国しないと戦争になりそうだったのかな。 ・鎖国していた幕府は、どうしたんだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペリーは横浜に来たのはなぜだろうか。また、江戸幕府は、どのような対応をしたのだろうか。</p> </div> <p>○日米和親条約の締結までの経過を調べ、260年以上続いた鎖国をやめて開国に踏み切った幕府の対応について、調べたことをもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ大統領の国書には、何が書いてあるのかな。 ・やっぱり開国したんだ。開いた港は下田と函館。 ・260年以上続いた鎖国は、止めてしまったんだね。 ・日米修好通商条約で、いよいよ横浜も開港するよ。 ・吉田新田の近くに横浜の浜があって、入海を埋め立てて居留地をつくったんだね。 ・大老の井伊直弼は反対派を抑えて、貿易をするための条約を決めたんだ。 ・天皇の許しを得る前に、条約を結んだ。 ・開国することに反対した人もいたみたいだけど、どうして井伊直弼は、条約を認めたのだろうか。 ・アメリカと日本には、とても差があったから開国するしかなかったんじゃないかな。 ・アメリカとの技術の差をうめるために、開国をして、日本を発展させようとしたと思う。 ・戦っても勝てないと思ったんじゃないかな。 ・当時は、アジアの国の土地がヨーロッパの国のものになってしまっていたから日本もそうならないようにするためだったんじゃないかな。 	<p>◇当時の日本が長い間鎖国していたことを理解したうえで考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハイネの原画による石版「横浜上陸」 <p>◇資料をじっくり見ることで、子どもたちの気づきを学習問題へつなげられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●黒船と千石船の比較 開港資料館蔵  <p>◇黒船と日本の船を視覚的に比較することで、アメリカと日本の技術の差に気づくことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペリーが持ってきた国書の内容 <p>◇内容を簡単にして提示し、ペリーが来航した目的を理解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペリー来航から条約締結までの年表 <p>◇幕府の対応が時系列で理解できるように、資料を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日米和親条約の締結の地（写真・地図）  <ul style="list-style-type: none"> ●日米和親条約の内容 ●井伊直弼 (掃部山公園の銅像、開港百周年記念切手)  <ul style="list-style-type: none"> ●日米修好通商条約の内容 (●アジアの植民地化の地図)

2. 開国後の横浜の様子と国内の不満 (2時間)

○開国後の横浜の絵図などを見て、開国したことによる横浜の変化について話し合う。

- ・とてもにぎわっているね。活気がある。
- ・いろいろな品物が海外から入ってくるようになった。
- ・建物とか街並みが今までと全然違う。
- ・みんな生き生きと楽しそう。
- ・でも、お米の値段があがったらしいよ。
- ・幕府に対する不満もあったんだ。

○開国した後、国内には人々の不満が高まり、倒幕運動が起こってきたことを調べ、年表にまとめる。

- ・開国して良いこともあったけれど、米の値段が上がったりして、不満もあったんだ。
- ・開国に反対していた武士を中心として、幕府を倒そうという運動が盛んになったんだ。
- ・倒幕運動の中心は薩摩や長州の人たちだった。
- ・政権が朝廷に返されたんだ。
- ・勝海舟と西郷隆盛の話し合いにより、戦うことなく江戸城が明けわたされたんだね。

3. 新しい政府による国づくり (2時間)

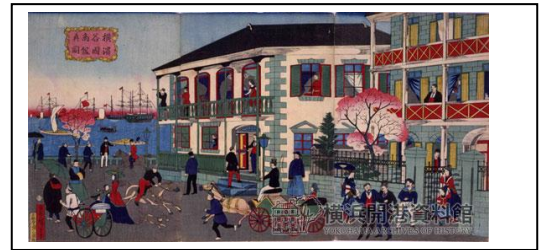
○新しい政府がどのような取り組みをしたのか、調べたことを出し合う。

幕府を倒した人々は、どのような取り組みをして、新しい国づくりをすすめたのだろう。

- ・天皇の名のもとに五箇条の御誓文が出され、みんなの話し合いで政治を決めていこうとした。
- ・身分制度を廃止して、四民平等を唱えた。
- ・政府が任命した知事を府県に置いて、廃藩置県を行った。
- ・欧米をお手本にして改革を進めるために、岩倉使節団を欧米に派遣した。
- ・外国との結びつきも強くなったね。西洋の文化がたくさん取り入れられたんだ。
- ・西洋の進んだ技術や文化を取り入れるために、お雇い外国人の助けを借りることもあった。
- ・西洋風のものは、文明開化といわれていたんだ。
- ・欧米の国に負けないために、たくさんの工場をつくったり、軍隊を整えたりしたんだ。

(●アヘン戦争の絵図)

●開国後の港の様子 横浜開港資料館蔵



○横浜市歌の歌詞と開国後の様子を表した絵図により、開港した横浜が栄えている様子を捉えることができるようにする。

●米の値段の推移のグラフ

●討幕運動にかかわった人物の写真

●黒船来航から幕府が倒れるまでの年表

◇幕府が倒れるまでの流れを理解できるように、年表の情報をじっくり読み取る。

《発展》横浜もののはじめマップ作り

●新政府の中心人物の写真

●五箇条の御誓文

◇今までの諸法度や御触書とかかわらせて考えることで、国民を主役にしようという考えが表されていることに気づくことができるようにする。

●新しい身分と割合のグラフ

●岩倉使節団

◇政府が欧米から様々なことを取り入れ、新しい国づくりを進めようとしたことに気づくことができるようにする。

6. 本時展開 (2/7 時間目)

学習活動と予想される児童の反応	めあて○、主な資料●、教師の支援◇、評価☆
<p>1. ペリー来航について調べたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペリーが横浜に来たのはなぜだろうか。また、江戸幕府は、どのような対応をしたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当時はクジラの漁が盛んだったから、アメリカも漁の途中で食糧とか様々なものを補給したかったんだ。 ・ ヨーロッパの国もアジアへ何度も来ているから、まだ貿易を始めていない日本と貿易をしたかったんじゃないかな。 ・ でも、江戸幕府を長い間鎖国を続けて平和な時代をつくったんだから、まだ鎖国を続けたいという気持ちはあったと思う。 ・ 当時の日本では、開国に反対していた人たちもいたんだね。 ・ ペリーは、空砲を撃ったりしてかなり強引だったらしいよ。だから、鎖国をしていたけれど応接所を用意して対応したんだ。 ・ 開港をしないと戦争になってしまっていたかもしれない。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペリーに開国を迫られたときに、自分だったら開国するだろうか。</p> </div>	<p>○調べた内容を全体で共有する中で、ペリーが来航した理由と幕府の対応を関連付けながらまとめられるようにする。</p> <p>● 日米和親条約の締結の地の絵図 ペリー来航から条約締結までの年表 井伊直弼の肖像 条約の内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆調べたことを意欲的に発表しようとしている。(関心・意欲・態度)</p> </div>
<p>2. 自分の立場を明確にしながら話し合う。</p> <p>【開港反対派】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり、鎖国をすることで平和な世の中が長い間続いていたから、開国をせずに日本独自の文化を発展させていければいい。 ・ 開港を決めて井伊直弼が殺されてしまうほど開国に反対する人たちがいたということだから、開国をせずに様子を見る。 ・ 日米修好通商条約は、不平等なことも書かれていたから、不平等な条約を結んでまで開国はしたくない。 <p>【開港賛成派】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当時は、日本とアメリカの技術の差が大きかったから、反対をしてもしも戦争になったら勝つことができないと思う。 ・ 開国するときに既にアメリカより遅れていたわけだから、開国をして外国と貿易をしたほうが、日本も発展する。 ・ 日本だけではなくて、アジアの国々が植民地になっていたこともあるから、開港をすることで、日本を守ったんだと思う。 <p>3. 自分の意見をまとめ、ふり返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確かに当時の日本は鎖国をしていたことで、外国よりも遅れていた面もあったから、開港をして貿易をすることで、発展できると思う。 ・ ここで開港をして貿易が盛んになったことで、今のみなとみらいのように発展することができたから、開港をしたことが良かったと思う。 ・ きっと開港をしたことで、人々の生活が大きく変わったと思うから、どのように変わったのかを調べてみたい。 	<p>◇資料から読み取ったことを根拠として意見を述べるができるよう指導する。</p> <p>◇「自分だったら」という視点を入れることで、調べたことをより自分事として考えられるようにする。</p> <p>● (アジアの植民地化の地図) (アヘン戦争の絵図)</p> <p>◇賛成・反対という立場だけでなく、決めかねている子どもたちの意見も取り上げ、決めかねている理由について根拠を明確にしながら話すことができるよう指導する。</p> <p>◇話し合いをもとに、自分なりの意見をまとめられるよう支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆開港について自分なりの考えをまとめている。(思考・判断・表現)</p> </div>

7 博物館資料を利用した授業について

社会科は、子どもたちの思考を丁寧に見取り、問題意識を大切にしながら進めていく教科である。子どもたちが学習題材を身近に感じ、自分事として切実に感じたときに追究すべき問題が生まれる。しかし、授業で取り上げる魅力的な題材や資料を探し出すのは容易ではない。そのようなときに、横浜市歴史博物館や横浜開港資料館に所蔵されている資料が生かされると考えられる。

本単元との関わりから記すと、横浜開港資料館には、名称の通り、幕末のペリー来航時から開港、文明開化、横浜の発展等の様子を具体的に示す資料が豊富である。どのような資料があるかは、訪問して確かめることが第一であるが、ホームページからも一部であるが収蔵資料を覗くこともできる。(授業に生かしたい教材や、授業相談については、市歴史博物館の学校エドキューターが対応している。)

【開国単元授業の導入について】

上掲の展開例では、ペリーの上陸図を導入に用いた。しかし、開国単元は資料が多数残されていることから、いくつもの導入が考えられる。

○ペリーの顔のいろいろ

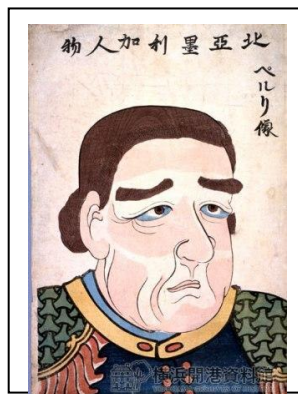
上記の指導案の中にも載せてあるが、ペリーの顔が描かれたものをいくつも提示して、「全てペリーが描かれているけれど、どうしてこんなにも表情が違うのだろう。」という投げかけからも導入することができる。ペリーの顔写真も残されているので、描かれた絵と写真との違いを比較することも興味深い。なぜ、こんなにも絵と写真の表情が違うのかということを追究していくことで、当時の人々が黒船に乗って来航したペリーらをどのように捉え、感じていたのかということが見えてくる。

○浮世絵・瓦版

開港資料館には、浮世絵や瓦版も多数残されている。書かれている挿絵などから気付いたことを発表しながら進めていくことで、当時の人々が黒船来航に大変興味を引かれていた様子や、恐れ存在でありながらも何とかして情報を得ようとしていた事実も見えてくる。そのような追究により、当時の時代背景を考えることができる。さらに、「文明開化」について学ぶ資料としても当時の浮世絵の活用が効果的である。

<資料 ペリー関係資料 全て横浜開港資料館蔵>

「絵入りロンドンニュース」



<資料 江戸時代の新聞 >

